

12 文化・芸術

	タイトル	意見等
1	県民ホールについて	<p>県民ホールは前任知事の時にプロポーザル方式で設計者と施工者を選定していたはずですが、知事が変わったからと言って決定事項を知事個人の意見で決定事項を反故にして良いのですか？速やかに施工を始めていたら再来年の春ごろ？には完成する予定ではなかったのではないですか。聞くところによると設計図は完成しているとのことなのですが、設計料は支払い済ですか？文化センターも青少年センター、図書館等全て解体撤去して元計画地は更地のまま。物価の高騰も今後益々激しくなると思われます。公告をしても誰も手を上げない藍場浜公園の狭小地に計画を無理やり進めるつもりでしょうか。小ホールに使用予定の郷土文化会館は築55余年を経過しています。コンクリートの建物は50～60年が寿命ときいております。プロポーザルで誰も手を上げないからと言って今度は設計だけでも先行しようとして新たに設計の発注をする予定のようですが、これ以上大切な血税を無駄に使ってほしくありません。元の計画地ならすでに設計図はあるのだからすぐにでも取り掛かれるのではないのでしょうか。今からでも決定済の敷地と設計者、施工者で事業を進める訳には行かないのでしょうか。選挙に勝ったからと言って何をやっても良いというのは如何なものかなと思います。いずれが良いのか広く県民の意見を聞かれてはどうですか。他県ではどんどんと事業計画が実現しております。今の状況では徳島県はどんどんと取り残されていくような気がしてなりません。知事様にはご自身の面子より県民第一を考えてほしいものです。知事様が変わればまたも振り出しですか？</p>
2	県立ホール	<p>藍場浜公園での建設を目指しているが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 藍場浜公園は、駅近の阿波踊り演舞場、各種イベント会場などで使用されている実績が有るとともに多くの県民の憩いの場となっており、その場所にホールを建設すると今まで開催されてきた各種イベントの開催場所がなくなり、徳島駅前の活性化に逆行することになる。 ・ 藍場浜公園から場所を変更しないのであれば、藍場浜地下駐車場を有効活用することを考え、ホールを地下に建設することも考えては如何であろうか？ <p>地下空間（現状の地下駐車場）を有効活用し、地下に大ホール・中ホール・小ホール、武道館（柔道、剣道）、体育館（バレー、バスケット）を地下二階構造（大ホールは一階から二階までの空間を利用、その他は上下の二階構造で設計）で系瀬在することで、地上は今まで通りの活用が可能になるとともに、ホールの外観設計が不要となりコスト低減に繋がる。</p> <p>又、地下空間を最大限有効活用することで、老朽化が著しい武道館等も同時に建設が可能となる。この地下案でホール・武道館・体育館ができるのであれば、建設費用を見直しても県民は理解することでしょう。</p>

12 文化・芸術

	タイトル	意見等
3	徳島城東二の丸や本丸の石垣について	<p>徳島城東二の丸や本丸東石垣、弓櫓石垣などはとても貴重な阿波の青石（緑色片岩）の石垣なのですが、地上からは城山の草木に覆われ見ることができません。</p> <p>少し伐採し徳島城博物館など地上から見えるようにして、石垣の崩落防止対策等も実施し、県主導で整備してはどうでしょうか。</p> <p>阿波国徳島城之図（国重要文化財）は江戸時代に描かれ、東二の丸や本丸の石垣が綺麗に書かれています。</p> <p>他の御城下絵図等にも城山の石垣が確認でき、安土桃山時代に徳島城が築城された後、地上から見上げると石垣が見えたのではと思われます。</p> <p>現在春には徳島城阿波踊りが開催され、お盆時期の徳島市阿波踊りでも鷲の門広場で踊りが行われたりしています。</p> <p>また徳島駅からバスターミナル横の通りは写楽通りに命名されて活性化が期待されているところです。</p> <p>また助任川沿いの蜂須賀桜の早咲きは全国配信ニュースで報道されています。</p> <p>そういった場面場面で城山に石垣が少し見えると風情もあるのではないのでしょうか。</p> <p>今だとほとんどの県民は城山の山の上に石垣があることは知らないし、行ったこともない小中高校生などがほとんどだと思います。</p> <p>以前は護国神社があり訪れる人も多かったのですが、今は城郭ファンが登城しSNSにアップするだけになっています。</p> <p>将来的には東二の丸の天守、本丸の御留守番所、地上の堀川横の月見櫓や太鼓櫓の復元にも期待が持てるのではないのでしょうか。</p> <p>これほど数百年放置され整備されていない城郭は全国的にも珍しいのですが、それ故希少価値があると思います。</p>